

# 9月16日 台風18号

## 住家104棟、非住家128棟が水害被害に

日本各地で猛威をふるった台風18号は、9月16日、三種町にも140ミリを超えると予想される豪雨をもたらし、三種川および鶺川川の増水・氾濫を招きました。これにより、下岩川地区・鶺川地区を中心とした住家に床上浸水などの甚大な被害が出るとともに、刈り取り間際に迫っていた稲などの農産物に影響を及ぼしました。また、県道能代五城目線や多くの町道が冠水・崩落・崩壊・土砂崩れ等により通行止めとなったほか、浜口地区では約2時間にわたる停電が発生するなど、ライフラインに大きく支障を来しました。

9月16日、台風18号の接近に伴い、秋田地方気象台から暴風警報（午前5時28分）、大雨警報および洪水警報（午前9時38分）が発表されました。同気象台の記録によると、能代市におけるこの日の雨量は136.0ミリで1時間当たりの最大雨量が28.5ミリ（午後1時30分）、同じく大潟村におけるこの日の雨量は148.0ミリで1時間当たりの最大雨量が34.5ミリ（午前11時46分）であることから、その中間に位置する三種町の雨量は136.0～148.0ミリ程度だったのではないかと推測されます。

雨脚が強まったのは午前10時から午後2時までの4時間あまりで、11時頃から午後1時前後にかけ激しい雨が降りました。その影響から、三種川中流域の下岩川地区での被害が最も多く、住家の床上浸水43棟、床下浸水18棟、非住家50棟が浸水するなど、計111棟が浸水被害を受けました。このほか、鶺川川下流域の鶺川地区などで床上・床下浸水が発生するなど、三種町全体では非住家を含めると232棟もの被害を被ったことになります。

また、県道の能代五城目線をはじめ、町道33路線が冠水・崩落・崩壊・土砂崩れ等の影響で通行止めまたは片側通行となるなどの被害が発生し、陸の孤島と化した集落が出たほか、幾路線も迂回しながらの帰宅を余儀なくされるなど、住民生活に大きな支障を来しました。

### 秋田地方気象台発表データ

観測所名	16日降水量	最大1時間降水量
八森	107.0mm	31.0mm（12：28）
能代	136.0mm	28.5mm（13：30）
大潟	148.0mm	34.5mm（11：46）
五城目	138.5mm	37.5mm（12：25）
男鹿	140.5mm	36.5mm（12：02）

発表日時	警報
16日 5時28分	暴風
16日 9時38分	暴風、大雨（土砂災害・浸水害）、洪水
16日 17時18分	暴風、大雨（土砂災害）、洪水
16日 20時41分	大雨（土砂災害）、洪水
16日 23時16分	洪水



歌橋付近（長面）



崩壊した町道（長面）



泉建設付近（鶺川）